

# あまうが通信

第 135 号 令和 4 年 8 月 15 日発行

あまうが(ア-ガ)とは真実

発行所 ひょうたんでら融通尊寺 〒651-0093 神戸市中央区二宮町 4-8-14

電話 078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう) メール yuzusonj@gmail.com

FAX 078-221-9256

HP <https://www.yuzusonji.or.jp> 携帯 090-1480-4400

ひ がん ほう え

## 《秋季彼岸法会のご案内》

毎年行っております彼岸法会です。今年も  
9月23日(金曜)秋分の日、午後2時より  
恒例の土砂加持法会です。

《光明真言百萬遍(1,000,000)奉納を突破して、積み重ねておられます》

当日は光明真言土砂加持秘法を修し、加持土砂(かじどしゃ)をお分け致します。加持土砂は、大地、地球の分身で、大日如来の五智の、活きた功德がこめられています。仏壇の中におまつりしてもよいですし、お墓にまくとご先祖様が喜ばれます。また、事故現場などにまくとお清めになります。建築の基礎工事の時に5ヶ所に埋めると地鎮祭の役目になります。あるいはコップに加持土砂を入れ、その中を水で満たし、更に別のコップに水だけに移し代えると甘露水となり、飲むとありがたい功德があります。

お彼岸の中日、皆様お揃いで是非ご参拝下さい。生死一如で亡き方も、生きている我々も、等しく大日如来の御霊光を、体と心に、いただくことができます。

この法会には事前や当日の申し込みは不要です。

**特別ゲスト** 《歌ッテル》さんに法会の後、午後3時ごろから歌っていただきます。

「半径 1m から 6,371km の愛と平和」を標榜し希望のメッセージを歌い続けるシンガーソングライター。小1で詩吟、小3で合唱団、小5でフォークソングの洗礼を受け、19歳からロカビリーの激流で過ごし、弾き語りにとどり着く。座右の銘は「いいことはすぐやろう。やろうかどうかまよっていたら、いいことはにげてしまうよ。」



お彼岸のお参りに参上させていただいているお家には、追って日時お約束の電話さし上げます。

## 《写仏会・法話会のご案内》

融通尊寺本堂にて、費用は無料です。

10月 8日(土曜) 正午より 写仏会	10月16日(日曜) 午後3時より法話会
11月 5日(土曜) 午後2時より写仏会	11月13日(日曜) 午後3時より法話会
12月10日(土曜) 午後2時より写仏会	12月18日(日曜) 午後3時より法話会

※コロナ対策をして行います。日時を確認のうえお越しください。

楽しい裏面に続く

# 《箏と舞のひととき》

日時：10月8日(土) 《写仏会の後で》

開場：午後2：30 開演：午後3：00



場所：融通尊寺の本堂 神戸市中央区二宮町 4-8-14

曲目：鶴の声、うさぎ、大仏、すり鉢、紅葉、黒髪

出演：元井美知子(箏) 小西幸男(舞)

チケット：2,000円

お問合せ・予約 mck\_motoi@yahoo.co.jp(元井) 078-221-5136 又は 090-1480-4400(融通尊寺)

主催：M music 後援：融通尊寺 沢井箏曲院 (一社)日本音楽会

お楽しみに！

## 今月の言葉

神戸市の六甲道に36年間マスターが一人でやっておられる【信州安曇乃しんしゅうあずみの】という喫茶店があります。

シルバーグレーの素敵なマスターです。ご存じの方もおられるでしょうね♥ボクは数年に一度行くぐらいのお店です。今日(7月26日デス)久しぶりお邪魔したら、素敵な音楽のなかマスターの心づかいの効いた、空間と飲み物を楽しむ事が出来ました。

ボクはインタビューが大好きなのでマスターに36年間喫茶店をやっておられて**一番楽しい事を教えてください**、と質問しました。マスターの答えは

『一番楽しいのは今ここです。宇喜多さんとか、来て下さるお客様と心を通わせることですね』

**じゃあ反対に一番辛いのは？**

『一番つらいのも今ここです。このお店にお客様をお迎えするについてどのようなモチベーションで、どんな工夫をこらして少しでも、楽しんでいただくかに苦心しますね。私も体調や気分の良くない時もありますから。そういうときにね』

『毎朝この店に来たら、大勢の物言わぬスタッフたちに挨拶します。この棚に並んでいるのは世界中から買い集めたモノです。それぞれ一流の職人たちが丹誠を込めて作ってくれた一品、うちにとっては、お客様に珈琲や飲み物をお出しするのに、無くてはならない優秀なスタッフです。この店のすべてが、私の生活の糧であり、最高の居場所であり、一番帰りた場所なんです』！！



信州安曇乃のスタッフたち

このあまうが135号が皆さまのお手元届くのは、お盆過ぎてからになります。これからお盆のお参りや、施餓鬼法会などで、皆さまの大切なご家族や精霊にご奉仕させていただく事になります。

少しでも皆さまのお役に立てるよう、寺内一同準備をさせていただいております。蝉の声に励まされながら生きております。有難う御座います。

合掌九拜 智弘

